

2013年12月10日

各 位

## デジタル制御電源分野の技術力を強化

－ マイコン事業譲受により、製品展開を一気に加速 －

サンケン電気株式会社

サンケン電気株式会社(本社:埼玉県新座市、代表:飯島貞利、東証一部上場)は、今般、株式会社日立超LSIシステムズ(本社:東京都立川市、代表:菊地明)との間において、同社が保有するミックスド・シグナル・マイコン事業の譲渡に関して最終合意に達し、本日、事業譲渡契約書を調印致しましたのでお知らせいたします。なお、譲渡日は、2014年2月1日としております。

当社は、今回のミックスド・シグナル・マイコン事業の譲受により、株式会社日立超LSIシステムズからミックスド・シグナルMCU製品の移管ならびに当該製品に関する技術情報を取得するほか、当該製品開発に携わる技術者の移籍を実施いたします。これにより、当社は新たな電源制御技術として注目を集めるデジタル制御方式<sup>(※)</sup>を用いた電源モジュール・電源ICの開発を一段と加速させ、次世代のパワーマネジメント製品の事業拡大に繋げてまいります。

本事業譲受の狙いならびに今後の開発製品の応用分野は、次のとおりです。

### 【事業譲受の狙い】

優れたデジタル制御デバイス技術を新たに入手するとともに、マイコン関連技術、ミックスド・シグナル技術を得ることとなり、当社が保有するパワー半導体デバイス技術、電源回路設計技術との融合を図ることにより、次世代のデジタルパワー制御ソリューションを提供する主導的立場を一層明確にしたいと考えております。

### 【主な応用分野】

主な応用分野として車載市場における製品展開を想定しておりますが、AC・DCコンバータ、DC・DCコンバータへの応用、さらにはモーター制御用のインバータ、LED照明のドライバー等にも応用範囲を拡大できるものと考えております。

なお、今回の事業譲渡の主な対象は、株式会社日立超LSIシステムズが有するデジタル制御デバイスに関する技術であり、対象製品も最新製品のみであることから、当社の当期決算に与える影響は軽微であります。

以 上

注(※)

電源の最も重要な機能は、様々な電子機器の稼働状態が待機モードからフル稼働まで大きく変動する中でも、必要とされる電圧や電流を安定的に供給することにあります。従来は、電源回路の後に接続された負荷の側で電圧・電流の変動を検知し、様々なアナログ回路を通じてフィードバックし補正を行っていました。

これに対し、「デジタル電源制御」、あるいは「デジタル・パワー・マネージメント」と呼ばれる技術は、このフィードバックを行う部分をデジタル化することで、電圧や電流の安定性を更に高めるとともに、デジタル信号で、必要な時に必要なだけ電圧/電流/電力を制御することで「エコと省エネ」にも貢献することから、今後、様々な分野で導入が進むものと予測されています。

特に、クラウド・コンピューティングの飛躍的な拡大により、データセンターのデータ処理量が急拡大し、消費電力量が急増していることを受けて、データサーバー等の総消費電力量の削減が急務となっております。また、従来のアナログ方式では達成できなかった簡便なプログラム変更によるカスタム化、電源ユニット全体の小型化、部品点数の大幅削減、低コスト化なども同時に達成することが可能となります。

本件に関するお問い合わせ先

サンケン電気株式会社

財務IR統括部 村野、高橋、石川まで

Tel (048)487-6121 (ダイヤルイン)